

製品名: TCP-1 η ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab18747

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	59kDa

抗原情報

遺伝子名	CCT7
別名	CCT7; CCTH; NIP7-1; T-complex protein 1 subunit eta; TCP-1-eta; CCT-eta; HIV-1 Nef-interacting protein
遺伝子 ID	10574.0
SwissProt ID	Q99832
免疫原	抗血清はヒト CCT7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

背景

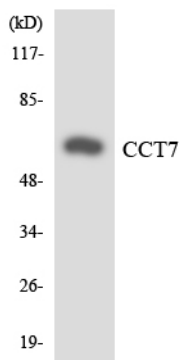
この遺伝子は、TCP1 リング複合体 (TRiC) としても知られる、シャペロニン含有 TCP1 複合体 (CCT) のメンバーである分子シャペ

ロンをコードしています。この複合体は、それぞれ 8 種類の異なるタンパク質を含む 2 つの同一のリングが積み重なった構造をしています。折り畳まれていないポリペプチドは複合体の中央の空洞に入り、ATP 依存的に折り畳まれます。この複合体は、アクチンやチューブリンを含む様々なタンパク質を折り畳みます。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する擬遺伝子は、5 番染色体と 6 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]、機能: 分子シャペロン; ATP 加水分解によるタンパク質の折り畳みを補助する。試験管内において、アクチンとチューブリンのフォールディングに関与することが知られている。類似性: シャペロニン (HSP60) ファミリーに属する。類似性: TCP-1 シャペロニンファミリーに属する。サブユニット: 直径 12~16 nm の 2 つのリングが重なり合う、約 850~900 kDa のヘテロオリゴマー複合体。PACRG と相互作用する。

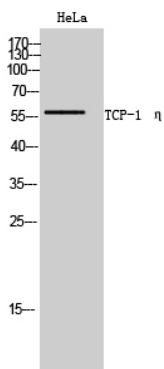
研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; カルシウムシグナル伝達; タンパク質輸送; シャペロン; その他のシャペロン; 免疫学; 免疫系疾患; 抗ウイルスシグナル伝達; HIV 関連

画像データ



CCT7 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TCP-1 η ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析